

オレゴン便り

発行:中野亜紀子

2013年

4月

4月になり、オレゴン州も日中の最高気温が 15 度を超える日もあり、暖かくなってきました。学校内での生徒の服装も、半袖 T シャツを着ている生徒が多くなりました。すっかり春になったと油断していると、また冬のように最低気温が 0 度で最高気温が 10 度に満たない日もあり、風邪をひいてしまいそうなくらい気温差が激しいです。でもこのような天候は、この時期の富山県でも見られますよね。皆さん、体調管理にはお互い十分に気をつけましょう。

オレゴンの生徒の日本への修学旅行について

派遣校である Sheridan Japanese School(SJS)の中高生 21 人が、3月 11 日から 2 週間、日本へ修学旅行に行っていました。3月 13 日夕方から富山県を訪れ、14 日は一日、富山県内を観光しました。朝はまず、教師と生徒の代表が、富山県庁を表敬訪問しました。その後、五箇山の相倉集落へ向かいました。当日はかなり気温が低く、五箇山も雪が降り、とても寒かったそうです。それでも生徒たちは、雪がしんと降る合掌造りの風景に大変感動したそうです。帰国した生徒たちに感想を聞くと、「It was amazing!!」という答えを何度も聞きました。



相倉集落観光後は、五箇山和紙の里で、紙すき体験を行いました。以前、SJS の夏のサマーキャンプで、紙すきを予定していたのですができなかったことがあったそうで、今回、本物の紙すきを体験できて、引率した教師からもとても嬉しかったとの感想を聞いています。生徒の一人も自分で作った和紙のはがきを、満足気に見せてくれました。

一行は五箇山で白エビかき揚げうどんなどの昼食をとった後、高岡市に移動しました。高岡市ではまず、瑞龍寺を訪れ、その後、高岡大仏に向かいました。高岡大仏前では、昨年 12 月から今年 3 月上旬にかけて、手作りガイドブックと手紙の交換をした高岡南高校人文科学コース 2 年の生徒数人が待っていてくれました。生徒たちは、英語と日本語を交えて会話し、短い間でしたが交流を楽しんだそうです。



春休み明けの 4 月、日本に行っていた生徒たちから、日本での様々な体験についてたくさんの感想を聞きました。「日本にパン屋がたくさんあってびっくりした」、「ミスタードーナツのドーナツがおいしくて毎日買って食べた」など、食に関する感想を多く聞きました。確かに日本には、私が今住んでいる地域で見

られるよりもたくさんのパン屋があると思います。日本といえば、「お米」というイメージが強すぎて、いろいろなところにあるパン屋の数に驚いたのでしょう。

感想を聞いていて何よりも嬉しかったのは、大阪、京都、広島、福岡、大分、熊本と、富山の他にもたくさんの場所を訪れた中で「富山が一番良かった」という感想を数人の生徒から聞いたことです。富山県の素晴らしさが、オレゴンの生徒たちにも伝わったことがわかり、とても嬉しい瞬間でした。



日本に行っていた上級生たちから旅行中の楽しかった思い出話をたくさん聞いて、今、私が日本語を教えている小学4、5年生たちは、自分たちも中高生になったら修学旅行で日本に行くということをモチベーションにして、日本語や日本文化を意欲的に学習しています。私も数年後、成長した彼らに日本で会えるのが今からとても楽しみです。

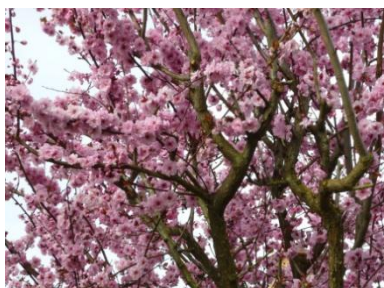
オレゴン州で春を感じる

日本の春と言えば、「桜」をイメージする日本人の方が多いのではないかと思います。オレゴン州に来て、初めての春を迎え、大変驚いたのは、オレゴン州にも桜の木がけっこうたくさんあることです。数年前、前々任校の姉妹校訪問でニューヨーク州に滞在した後、ワシントンDCへ生徒たちと行ったことがあります。ちょうど3月だったため、日本から贈られたという桜がとてもきれいに咲き誇っていたのを今でも覚えています。あの有名なワシントンDCの桜の他にも、アメリカには意外にもたくさんの桜の木があるのです。日本と同じように、薄いピンク色の桜もあれば、少し濃い目のピンクの桜もあります。3月の最終週の一週間は学校が春休みでした



マクミンビル高校の桜

が、その間は大変天気が良く、オレゴンの桜は満開になりました。日本の学校には、必ずと言っていいほど桜の木がありますが、私の住むマクミンビル市にあるマクミンビル高校やリンフィールド大学にも桜並木があります。



春の暖かい日差しの中、満開に咲き誇る桜の花はとても見事でした。

ポートランドにも、先月のオレゴン便りで紹介したウィラメット川沿いの公園に桜並木があります。毎年そこで **Sakura Sunday** という桜祭りが開かれています。今年は4月7日に行われました。私も子ども向けのブースを手伝うボランティアとして参加しました。しかし当日はあいにくの雨模様。さらに桜の花はすでに散ってしまっていました。去年も雨だったそうですが、2年前は桜

の下の芝生の上で日本のお花見のようにピクニックを楽しんだそうです。楽しみにしていた日本スタイルのお花見をオレゴンで行うことができず、残念でした。

学校でも、日本のお花見や日本人と桜について、文化の授業で取り上げています。桜を紹介する前に、季節を表す言葉をまず導入しました。アメリカ



はとても広いので、カリフォルニアやフロリダのように季節の区別のない地域もあります。オレゴンは、そのような場所と比べると四季がある方だと思っていました。生徒に聞くと、夏と雨季の2つしか季節がないと答える生徒や、春夏秋冬の3つと答える生徒、春夏秋冬の4つと答える生徒と様々でした。とても興味深い反応でした。

授業では、桜をテーマにした歌が日本にはたくさんあることを伝え、J-POPの中から数曲紹介しました。「桜」と聞こえたら、手を挙げるように

伝えてあったので、生徒たちは真剣に歌詞に耳を傾けていました。1曲取り上げてCDに合わせて歌いましたが、思いのほか盛り上がったので、嬉しかったです。

もう一人の日本人教師の方が、中学生対象の文化の授業で、画用紙で作った桜の花で手作りの桜の木を満開にさせるプロジェクトを行っていますが、生徒たちは作り方を覚え、早く満開にさせようと真剣です。来週の授業で満開になる予定だそうです。

また、日本の春と言えば「桜」ですが、オレゴンの春と言えばどんな花をイメージするか聞くと、「水仙」と答える生徒が何人もいました。確かにこの時期、家の庭先や道端にたくさんの水仙の花を目にします。水仙の他にも、春のオレゴンには、ツバキやモクレンの花なども美しく咲いています。それでも、アメリカは新学期が9月なので、私にとってはこれまでとはまったく違った春を過ごしています。「日本の春」が恋しくなることもよくあります。



リンフィールド大学の桜



くと、「水仙」と答える生徒が何人もいました。確かにこの時期、家の庭先や道端にたくさんの水仙の花を目にします。水仙の他にも、春のオレゴンには、ツバキやモクレンの花なども美しく咲いています。それでも、アメリカは新学期が9月なので、私にとってはこれまでとはまったく違った春を過ごしています。「日本の春」が恋しくなることもよくあります。

水仙の他にも、春のオレゴンには、ツバキやモクレンの花なども美しく咲いています。それでも、アメリカは新学期が9月なので、私にとってはこれまでとはまったく違った春を過ごしています。「日本の春」が恋しくなることもよくあります。



桜の花びらを製作中



桜を満開に・・・



満開になったSJSの手作り桜